



Selp-Sasayuri News ささゆりだより

第128号 2019年4月8日発行 発行責任者：社会福祉法人清光会 ささゆり作業所 影山 英夫

水呑地蔵尊／土丸町内会／泉佐野市
／田尻町／熊取町／八淨寺／インター
クラフト通商／(株)フタバ／馬場谷タ
オル(有)／シマ／(株)東進／丸十タオル
(有)／み奈美亭／(株)エリー／梶谷商店
／(株)フェミニン／神藤織物(株)／リコ
ズ・ワールド／曾我(株)／サンタ通商
(株)／エルチャレンジ／山本紙器(株)／
(有)日神／広洋物産(株)／西本タオル(株)
／(有)プレスコート／(株)万雄／(有)丸繁

／高野山宿坊組合／岩代商店／神通
温泉(有)／南天苑／ときめきの宿ふる
さとネット／原花店／(株)マサイ／(福)
信和福祉会 圭の家／太陽川辺作業
所／(株)山義／(株)丸中／(株)スミシシ
／(有)おはなやさん凜

(順不同、敬称略)

以上、作業提供・寄付・その他のご
協力を頂いた団体・個人の方々です。
ありがとうございました。

編集後記

新たな年度を迎え
ました。新しいご利用
者、職員も何人が
加わり、新たな元号
とともにみんなから
愛される「ささゆり
作業所」になってい
ければと思っています。

この「ささゆりだ
より」もみんなから
愛される楽しい紙面
であり続けるようが
んばってまいります
ので、今後ともよろ
しくお願い申し上げ
ます。

倉澤 威



5月・6月の主な行事

5月

17日(金) クラブ活動
21日(火) エンゼルの会

※各班での一外出も予定しています。
※ゴールデンウィークは、1日・3
～6日が休所日となります。

6月

18日(火) エンゼルの会
21日(金) クラブ活動

※防災訓練も予定しています。

※予定は変更する場合もございますので、何卒ご了承下さい。

ホッと一息コーナー

新元号が発表されました!!

新しい元号が発表され、「昭和」、「平成」、
「令和」と私も3世代をまたぐことになりました。
現在では天皇の即位に伴い、元号が変わりますが、
1868年以前は元号の変更が決まりは無く、災害等

の天変地異や占いでも変わっていたとの事です。
645年から始まった元号ですが大半は10年も続
かず、最も短いものだと2か月の元号もあったそ
うです。

高道雄治

より良い広報紙を目指すため、ささゆりだよりについての
意見や要望を随時募集しています。あんなことが知りたい、
こんなことが載っていると役に立つ等、皆様のご意見をお寄せ下さい。

*編集委員：倉澤 威・奥 陽澄実・宇室 克哉

〒598-0022 大阪府 泉佐野市 土丸904番地 TEL 072-459-7024

FAX 072-459-7350

E-mail: selp-sasayuri@nifty.com URL: <http://s-seikokai.or.jp/sasayuri/>

令和元年(平成31年)を迎えて

平素はささゆり作業所の運営に心あるご支
援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
少し振り返ると、この冬は比較的、暖冬だっ
たように思います。春が近づいてくると、陽
気な日々が続き、桜も満開になり、季節の移
り変わりが肌で感じられるようになりました。

さて、平成の時代が終わり、新しい元号
「令和」が発表される中、世間では「働き方
改革」や少子高齢化の影響もあり、人手不足
からの「外国人労働者の受け入れ」等のキー
ワードが良く聞かれるようになりました。私
もしばらくの間、採用関係の業務をさせても
らっていますが、数年前に比べると非常に若
い世代の人が集まりにくくなってきているの
を実感致します。2025年には団塊の世代が後
期高齢者(75歳以上)となり、介護業界の人材
不足が38万人になるといわれています。政府
も介護分野に5年間で6万人の外国人労働者
を受け入れると公表しています。その影響か、
今年度から福祉系専門学校の実習依頼にお
いても、外国人学生の受け入れの可否が記載
されるようになってきました。益々、この福祉
業界にもグローバル社会の波が押し寄せて
きている事を肌で実感するようになりました。

障がい者支援の現場にも外国人労働者の受
け入れは可能なのでしょうか?ただ、人と人

が助け合うという事は世界共通の概念だと思
います。人材不足の日本で言葉や文化の違い、
生活習慣等を乗り越えて、障がいある方に寄
り添った支援を実践してもらえれば、ご利用
者の方にとっては福祉サービスの利用を制限
(人手不足により)されることは少なくなるで
しょう。障がいある方の困っていることに寄
り添い、専門性を高めることができれば、新
しい共生社会創生の一步になると考えます。

今年度は新しい元号から始まり、社会福祉
情勢ともに「変化」の一年となりますが、
「変化してはいけないもの」もしっかり見極
めて、ささゆり作業所は引き続き、ディー
セントワーク(働きがいある人間らしい仕事)
の推進に取り組んでいきたいと考えておりま
す。障がいある方が「はたらく」とは何かを
日々、追求しながら、はたらく喜びややりが
いを感じていただける為の環境整備、分配金
の向上等、職員一同一歩ずつ、歩みを止める
ことなく進んでいこうと思います

最後になりましたが、満足していただける
施設、地域の方に愛される施設は、ご利用者、
ご家族、関係者各位、地域の皆様のご協力無
しでは実現できません。皆様の貴重なご意見
に耳を傾け、必要とされる施設づくりを目指
してまいりますので今後ともご支援の程、よ
ろしくお願いいたします。

高道 雄治